

Estuary 051



エスチュアリ

いしかり砂丘の風資料館だより

☆エスチュアリ…「河口」の意味。北海道一の大河、石狩川と日本海とが会う場所、それが石狩です。

展示資料のひみつ

石狩紅葉山49号遺跡（略：M49）では、ほぼ完全な形で出土した縄文時代の櫂が1点あります（市指定文化財）。長さは約160cm。特徴は、長い柄の片方に作り出されたスリムな水掻（みづかき）部。幅は7cmほどで、平面形はヘラのような形をしています。M49では、他にも破損した状態ですが櫂の水掻部の残っていたものがいくつかあります。これらの水掻部も幅が狭く細身に作られて

います。このような形状から、M49の櫂は川で丸木舟を動かすときに水底を突き推すようにして使われたものではないかと考えられます。また、M49では、丸木舟の一部も数点見つかっています。今のところ、北海道の遺跡で出土した縄文時代の丸木舟と櫂は、この遺跡のものしか確認されていません。

只今、テーマ展「石狩紅葉山49号遺跡出土の舟と櫂」（3ページ参照）で、これらの資料を展示しています。ぜひご覧ください！◆

（荒山 千恵 あらやまちえ）

<全体の形>

- ・細身で水掻部が小さい。
- ・一つの木材から柄部と水掻部を一筋にけずって作っている。



■櫂（市指定文化財）

石狩紅葉山49号遺跡出土
時期：縄文時代中期
樹種：モクレン科モクレン属

<水掻部を拡大>

- ・水掻部の幅が狭い（幅約7cm）

- ・柄から水掻部先端に向かって少しずつ幅を広げた形をしている。

考古学を楽しむ〈1〉

NEW!!
新連載

出土品にみる「あな」の話—その1—

遺跡から出土した土器・石器・木製品などを観察していると、小さな「あな」があいていることがあります。実はこの「あな」の正体を明らかにすることで、秘められた過去のモノと人とのかかわりをひもとく手がかりになることがあります。

土器に見られる「あな」もその一つ。文様の一部として開けられたものや、用途に合わせて「あな」をあけたものなどがあります。これらは、土器を作る過程で粘土のやわらかいうちに貫通させ、その後に焼いてかたくするのが普通です。ところが、すでに焼いてかたくなった土器に、わざわざ「あな」をあけた痕跡が見られることがあるのです。その位置を見ると、割れた土器の割れ口の近くにあいていることがあります。これは、ひび割れなどで壊れしまった土器の割れ口の両端に「あな」をあけ、ひもを結んで補修するためのもののなのです。

図1は、石狩市内の上花畔1遺跡から出土した縄文土器で、複数の箇所に補修用の「あな」があいています。さらに、この縄文土器には「あな」に炭化した紐状のものが残っているところもあります。補修の「あな」のあいた土器はよく見られますが、実際に紐状のものが残っ

た状態で発見されることはめったにないことです。壊れた土器をなおして使う—当時の人々のモノに対する「ここ」の一端に触れられた気がします。◆

(荒山 千恵 あらやまちえ)

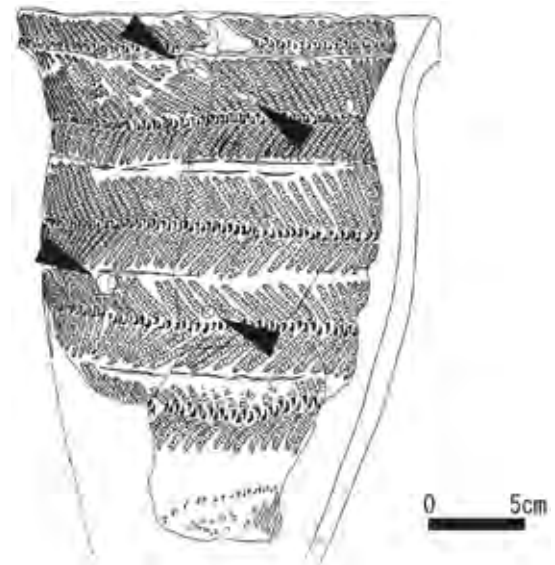


図1 上花畔1遺跡の縄文土器。

割れ口の左右にあけられた補修用の「あな」。

「あな」に紐状のものが残っているところもある。

(石狩町教育委員会1992『石狩町上花畔地区宅地開発事業に伴う埋蔵文化財調査報告書』に加筆)

■「石狩ファイル」No.160まで発行！

石狩の自然・歴史・文化を1テーマ1ページで解説する、石狩ファイル。興味のあるテーマを集めてファイルして、自分だけの石狩事典を作っちゃおう！資料館・図書館で配布しているほか、ネットからもダウンロードできます。

<http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/museum/iftop.html>
(資料館ホームページ内)

8月末に、次の10ページを追加！

- 151 石狩—無辜の民像
- 152 古石狩湾
- 153 旧木村家住宅(木村番屋)
- 154 スカンジナピア館
- 155 真宗興正派紅葉山了恵寺
- 156 了恵寺百年記念法蔵館 為衆開法蔵
- 157 暑寒別天売焼尻国定公園
- 158 新札幌団地
- 159 オオムラサキ
- 160 鯨塚

■石狩市広報に連載「いしかり博物誌」

第145回(2016年9月号)
サケの手

第146回(2016年11月号予定)
縄文文化の舟と櫓

石狩市広報のPDFから読めます↓
http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/publication/publication_top.html



umibeography 石狩ウミベ図鑑 NEW!!

グリーンフラッシュ green flash

撮影日：2016年8月11日

撮影地：石狩浜（北海道石狩市）

一般情報：

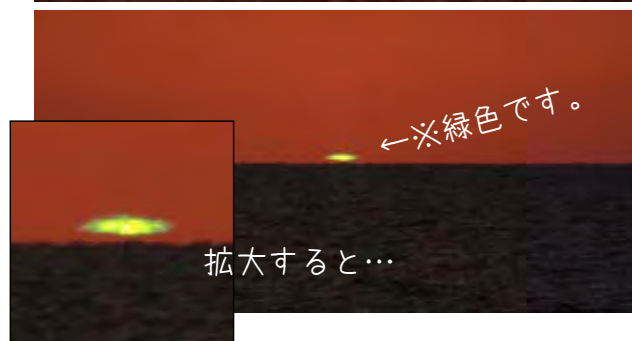
日没時、太陽の最上端が水平線や地平線に沈みきる瞬間、緑色に輝くことがある。これがグリーンフラッシュと呼ばれる極めて稀な現象。海面（地面）直上の大気がプリズムのような役割を果たし、屈折率が高い波長の短い光（緑色～青色）だけが、水平線（地平線）の向こうに沈んだ太陽から観測者に届く。空気が非常に澄んでいる状態でないと見られない。

石狩情報：

石狩湾に面した石狩市は、西側に開けた海岸線が続いている。そのため、水平線に沈む夕日を観測するのに適している。グリーンフラッシュを確認できるのは極めて稀ではあるが、石狩の海岸では比較的可能性が高い。◆

（志賀 健司 しがけんじ）

新連載「石狩ウミベ図鑑」。
石狩の海辺で見られる物や現象を
毎回1つ取り上げ、紹介していきます。



写真上：8月11日18時39分の太陽。オレンジ色に輝いている。

写真下：同日18時40分。太陽の上端が水平線に消える直前。消える瞬間、緑色に変化した。右下は拡大した画像。

※印刷は白黒なので、色がわかりません…。資料館webでエスチュアリPDF版をご覧ください！

<http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/museum/publication.html#estuary>

テーマ展

石狩紅葉山49号遺跡の舟と櫂

石狩紅葉山49号遺跡から出土した丸木舟の一部と櫂をととして、縄文文化の人々と川とのかかわりについて紹介します。常設展では見られない出土品をご覧いただける機会です。ぜひご覧ください。

■期間 9月21日（水）～11月23日（水・祝）

■場所 いしかり砂丘の風資料館

※資料館の入館料が必要です。（大人300円）



開催中！

プロジェクトM：

第0回！石狩遺産シンポジウム

石狩市の歴史や風土、自然が織りなすストーリーがもつ“未来に引き継ぐ価値”について、市民による発表や意見交換を行い、初の「石狩遺産」を市民公開型で認定します。

- 主催 プロジェクトM
- 日時 11月26日（土）13:30～16:00
- 場所 石狩市民図書館 視聴覚ホール
（石狩市花川北7条1丁目26）
- 定員 40人（先着順）
- 参加料 無料
- 申込 11/1（火）～11/23（水）の間に電話で資料館へ（0133-62-3711）

11月開催

いしかり・まちの魅力を見つけ出せ！

プロジェクトM

2016年 秋の講座・展示

野外講座

石狩ビーチコーマーズ 秋の海辺の漂着物



秋の石狩浜には暖海の生物や外国の漁具など、南の海からの漂着物があります。海辺の漂着物を観察・採集して、知られざる海の世界を覗いてみよう！

- 日時 10月16日(日) 09:00～13:00
- 場所 いしかり砂丘の風資料館、石狩浜
- 対象 小学4年生～大人(小学生は保護者同伴)
- 定員 20人(先着順)
- 持ち物 長靴、帽子、ビニール袋など。参加無料
- 申込 10/1(土)～10/14(金)の間に電話で資料館へ(0133-62-3711)

10月開催

講演会

縄文のくらしと石器 —石狩紅葉山49号遺跡出土の 石器使用痕分析からわかること—



縄文時代の石器はくらしの中でどのように使われていたのでしょうか？ 石狩紅葉山49号遺跡から出土した石器について、顕微鏡を用いた調査成果からお話いただきます。

- 日時 11月3日(木・祝) 14:00～15:30
- 場所 石狩市民図書館 視聴覚ホール(石狩市花川北7条1丁目26)
- 講師 高瀬克範氏(北海道大学大学院准教授)
- 対象 一般、定員30人(先着順)
- 参加料 無料
- 申込 10/1(土)～10/26(水)の間に電話で資料館へ(0133-62-3711)

11月開催

体験講座

縄文の川とくらしを ジオラマで作ろう



石狩紅葉山49号遺跡の出土品を観察し、縄文文化の川辺のくらしの風景をジオラマで作ります。参加者皆さんで一つのジオラマを完成させます。作成したジオラマは、いしかり砂丘の風資料館で開催中のテーマ展に展示させていただく予定です。

- 日時 10月29日(土) 10:00～15:00
- 場所 いしかり砂丘の風資料館
- 対象 小学4年生～大人(小学生は保護者同伴)
- 定員 10人(先着順)
- 持ち物 エプロン、タオル(汚れてよいもの)、昼食(飲物)
- 参加料 無料
- 申込 10/1(土)～10/20(木)の間に電話で資料館へ(0133-62-3711)

10月開催

体験講座

フライドチキン骨格標本をつくる

フライドチキンはフライド恐竜!? 恐竜とその子孫、鳥の骨は、意外とソックリさん！ チキンを食べて、翼や脚の部分骨格標本を作れば、1億年の生命進化の歴史が見えてくる！

- 日時 12月17日(土) 12:00～17:00
- 場所 いしかり砂丘の風資料館
- 対象 小学4年生～大人、10人(先着順)
- 持ち物 フライドチキン1ピース(※骨付きのもの・当日食べられる状態で)
- 参加料 無料
- 申込 12/1(木)～12/14(水)の間に電話で資料館へ(0133-62-3711)

12月開催



恐竜 サイエンス・テラーリング2016
恐竜博士になろう！

※詳細は北海道大学総合博物館(CISE事務局)までお問い合わせください。



編集後記

ある有名観光都市に行ってきた、当館ボランティアのKさんが言っていました。「食べ物の店は大勢の人が入ってるけど、それに比べると博物館や歴史的建物にはほとんど人がいない。おいしい物を食べてお腹が満腹、歴史を見て頭も満腹、ってなったらいいよね」。うーん、名言。教育だ学習だ、とかたいこと言わなくていいから、頭も満腹にする場所が、博物館。(け)

いしかり砂丘の風資料館

- 開館時間 午前9時30分～午後5時00分
- 休館日 毎週火曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始
- 入館料 大人：300円、中学生以下：無料
団体料金240円(15名以上)
- 交通 中央バス札幌ターミナルより石狩行き乗車、「石狩温泉」下車、徒歩1分(石狩温泉「番屋の湯」となり)

エスチュアリ No.51



2016年10月15日 発行

いしかり砂丘の風資料館

〒061-3372 北海道石狩市弁天町30-4

TEL/FAX: 0133-62-3711

bunkazaih@city.ishikari.hokkaido.jp

<http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/museum/>